(2) 災害時に薬剤師は何をしているのか
～ 医薬品供給と他職種連携から考える災害薬事 ～

就実大学薬学部・就実大学薬学部附属薬局　助教　吉井　圭佑

災害時には，医療提供体制の混乱に加え，医薬品の不足，処方内容の確認困難，避難所における服薬管理など，平時とは異なる医薬品の課題が生じる．薬剤師は，医薬品の供給・管理，処方支援，服薬継続支援，避難所での衛生管理や健康相談などを通じて，被災者の治療継続と安全確保に関与する．

本講演では，まず災害時における薬剤師の活動を概説し，平成30年7月豪雨および令和6年能登半島地震における医薬品供給を例に，災害時の医薬品確保と供給体制について説明する．さらに，岡山県における災害時の医薬品供給体制を紹介し，行政，薬剤師会，医療機関，薬局等をつなぐ災害薬事コーディネーターの役割について解説する．

後半では，看護師，リハビリテーション専門職，管理栄養士，医療事務職など，災害時医療を支える他職種と薬剤師との関わりに焦点を当てる．災害時には，医薬品だけでなく，生活機能，栄養状態，慢性疾患管理，医療情報の整理などを含めた包括的な支援が求められる．本講演を通じて，災害時医療における薬剤師の役割を理解するとともに，他職種が互いの専門性を理解し，連携する意義について考える機会としたい．